

ポスター発表 Room 1 演題前の数字は発表番号。1 発表 6 分。時間厳守。

前半 16 : 00 ~ 17 : 00

司会進行：沢井佳子（チャイルド・ラボ所長、日本こども成育協会理事）

1. 日本の園での食事場面における保育実践 食べ終わるまで「待つ」という行為に着目して  
瀬尾知子
2. 逆境にある子どもを描いた絵本の分析—困難な状況で子どもは何を必要とするのか—  
伊豆田麻子
3. 子どもと保護者のための野外音楽活動プログラムの実践報告  
花岡清美
4. 子ども主体の保育実践実現迄のプロセス—経験年数 5 年に至るまでの保育者の体験から—  
桐川敦子
5. 地域財産としての児童文化財の現状と記録～岩手県岩泉地区に残る子どもの伝承遊び調査  
丸山ちはや
6. 子どもの空手学習におけるリズム活動を用いた身体動作の特徴と支援  
深町澄子
7. 戦時体制下における『愛国少年』の読者に関する一考察  
田中卓也

後半 17 : 00 ~ 18 : 00

司会進行：高塩 純一（びわこ学園医療福祉センター草津 理学療法士）

8. 本人の参加を促す意思決定支援をしたことで最適な電動車椅子使用が可能になった症例  
田中あゆみ
9. 肢体不自由児の美術制作における画材、素材、使用方法の工夫の共有  
南雲まき
10. 多胎児をもつ特定妊婦の特徴および助産師の支援と課題  
渡邊梨央
11. ロールプレイを活用したドゥーラ（出産付き添い者）トレーニングの開発  
福澤利江子
12. コロナ禍の中で「できること」を考える —地域子育て支援センターB から—  
鈴木祥子
13. 小学生から高校生までの学業の成績評定に及ぼす社会経済的地位と教育環境・学習環境との関連に関する行動遺伝学的検討  
安藤寿康
14. 平成の大合併における市町村の保育の変遷—過疎関係市町村の合併協議会に着目して—  
西垣美穂子

ポスター発表 Room 2 演題前の数字は発表番号。1 発表 6 分。時間厳守。

前半 16 : 00~17 : 00

司会進行：小林 美由紀（白梅学園大学子ども学部 教授、小児科医）

15. 保育者が専門知識を学び続けることは、多様な子ども主体の保育の要  
寺井薫
16. ASD 児の思いを受け止める際の保育者に求められる対応の質：保育場面の関与観察から  
頼小紅
17. 放課後等デイサービスにおける物的環境調整によるコミュニケーション行動の促進に関する事例報告  
伊藤貴大
18. 「痕跡」から探る他者の営みー「つぶされた空缶」の考古学的手法による分析の試みー  
水野友有
19. 保育者の記録から読み取る幼児の集団としての育ち～卒園記念文集などの分析を通して  
金瑛珠
20. 性役割期待によって生じる男性保育者のナレッジベース形成について  
古谷淳
21. 夜間保育を行う認可保育施設長に生起する心情の考察：子どもの育ちの環境をめぐって  
大江まゆ子

後半 17 : 00~18 : 00

司会進行：佐々木 玲子（慶應義塾大学体育研究所教授）

22. 言語機能 Triple Mirror Neuron 起源論 脳の言語機能の起源を人間行為を支える Enactive Brain II に探る  
仁木和久
23. 人間行為と「学びと成長」を支える脳の拡張モデル Enactive Brain II の提案  
仁木和久
24. 学校教育の成功をどう定義づけるか？ーEnactive Brain の仕組みとその発達観点からー  
緩利誠
25. オンライン式授業や保育実習が保育士のキャリア形成に与える影響に関する研究  
鳥海弘子
26. 大学生は絵本体験をどのような時に思い出すのか  
梅田真樹
27. 幼児のモノのやりとりにみられる特徴 -3 歳児クラスと 5 歳児クラスの比較  
廣瀬翔平
28. 「幼保の時間」の音楽番組にみる領域〈音楽リズム〉から〈表現〉への変化の対応  
葉口英子
29. 継続的な遊び込み経験が子どもの遊び範囲の拡大と身体活動量に与える影響  
森谷路子

ポスター発表 Room 3 演題前の数字は発表番号。1 発表 6 分。時間厳守。

前半 16 : 00 ~ 17 : 00

司会進行：竹下 秀子（追手門学院大学心理学部教授）

30. 中高生のコロナ禍休校期間における生活の変化と親子関係および精神的健康との関連  
酒井厚
31. 社会的ハイリスク状態にある子どもへ包括的性教育支援の実践報告  
安藤布紀子
32. 知的障害特別支援学校高等部における VR を活用した授業の実践試行  
岩井祐一
33. ICT を活用して子どもの科学的概念を育む物語創作ワークショップの開発と実践  
大崎章弘
34. 保育学生の ICT 導入に関する意識  
渡辺 直人
35. 生命とのつながりを育む移動動物園における保育の環境設定と子どもの学びの評価  
内海緒香
36. 幼児期における科学的探究心の芽生え—探索的な調査結果からの一考察—  
末松加奈

後半 17 : 00 ~ 18 : 00

司会進行：塘 利枝子（同志社女子大学現代社会学部教授）

37. 創造的な Digital Play を支援するオンライン・ワークショップに向けた予備調査  
佐藤朝美 朝倉民江
38. ニュージーランドの保育評価 learning story に基づく、日本の森のようちえんの活動の分析  
藪田弘美
39. 幼児のピアノレッスンにおける指導者の発話分析②  
油川さゆり
40. 幼稚園の帰りのあいさつルーティンにおける保育者の意図—3 歳児と 4 歳児の比較検討—  
鈴木幸子
41. わらべうたの音楽構造と私たちの音楽認識の変容  
松崎真実
42. 日本語指導のための「先行学習」—日本人学校での実践の分析を通して—  
渡邊花穂
43. 絵本の研究—絵本に描かれた主人公からその時代の子ども観・教育観を読み解く試み—  
戸次佳子